

# 人権講演会

講演 「二つの国のはざまで

翻弄され続ける家族」

人権・同和問題市民講座が7月5日に、住民センターで行われました。

講師、蓮池透さんの実弟・蓮池薫さんが突然行方不明となり、それから長い歳月の後、北朝鮮による拉致と判明。この間、家族の薫さんを取り戻すさまざまな取り組みや計り知れない苦悩の日々が延々と続いたそうです。

そして拉致に始まり生きていくことさえままならない北朝鮮での24年間の、報道では知れない人権侵害の数々が語られました。

拉致被害者の中には、未だ帰国を果たしていない方々が数多くおり、拉致問題を通して基本的人権について改めて考えさせられる講演会でした。



【講師】

元「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」副代表  
蓮池 透 氏



人権講演会終了後に「人権・同和問題の啓発標語」の表彰式が行われました。今年も「差別をしない大人になって欲しい。差別のない社会になって欲しい。」といった思いのこもった標語ができました。

## 人権・同和問題の啓発標語代表作品

最優秀

気がついて！「みんなちがって あたりまえ」

桂川中学校 小西 花渚さん

優秀

気づこうよ 知らないふりも いじめだよ

桂川中学校 鶴澤 雄基さん

優秀

考えよう 自分の行動 差別かな？

桂川中学校 樋口 裕妃さん

優秀

ありがとう いっぱい言えば うれしいよ

桂川小学校 安陪 佑哉さん

※佳作11点については、今後「広報けいせん」で紹介していきます。

## 街頭啓発

(7月1日)



▲人権問題に関する啓発を行う、桂川町人権・同和問題協議会副会長の青柳議長

7月の「桂川町人権・同和問題啓発強調月間」を迎えるにあたり、桂川町人権・同和問題協議会では、標語入りうちわを配り、道行く人々に広く人権の大切さを訴えました。



▲人権の大切さを訴える、桂川町人権・同和問題協議会会長の井上町長



▲道行く人にうちわを配る、桂川町人権・同和問題協議会委員の下川議員(左)